



労働の質とは？

水害検証委員会における市長発言について

議員

水害検証委員会で、私は「市職員の水害時の残業代が140万というのはあり得ない。1日幾らという形にしないからだ。善後策を考える。」と言ったら、

市長は「一般職員とボランティアは質が違う。」と言った。ボランティアの方が聞いたら、どう思うか。仕事中にたばこを吸っている市職員と遠方から寝ずに来たボランティアの方、どちらが労働の質がいいのか。

市長

職員は、指揮命令権に基づいて働かされているという形で、労基法における労働の概念に入る。ボランティアは、行くこと自体自分で選択でき、その中で自由に休むこともできる。指揮命令権は一切ない。厳密に言えば労働という概念に当たらない。その違いを言ったわけである。

議員

職員は拘束時間が決まっているのに、なぜ仕事中にたばこを吸うのか。まず庁舎内に喫煙室があること自体がおかしい。ボ

ランティアの方にも指揮官がいる。好き勝手やっていると思うか。また、働かされているという表現がおかしい。公務員はみんなのために自主的に働くのだろう。

市長

常総市であれば私が指揮命令権を発しているわけで、労働者の側から見れば、働かされているという受け取りになると思う。

議員

では、勤務中にたばこを吸えと指揮命令で出しているのか。

市長

執務時間中にたばこを吸うのは許される行為ではない。私は嚴重注意をした。

議員

水害当初、ボランティアの方がたくさん来たが、指揮系統ができてないから帰ってしまった。常総市にはもうボランティアに行きたくないと言っている。ボランティアの方は本当に困った被災者を助けたいという一念で頑張ってくれたのではないのか。

□ 般 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 般 質 問

住んで働ける常総市に!!



常総市の現状と今後の政策について



雇用の場だけではなく、そこで働いている人たちが常総市内に定住してもらえないような住宅政策もやっていかななくてはと思っています。きぬの里にはまだ住める余地があるので、そういう可能性があるとところをしっかりと埋めていきたいと思う。線引きについては見直すことが難しく、違う手法で住宅地の開発ができないか懸命に考えている。

議員

地域共同のあり方について、地域の活動で班長さんがチラシを配ったりしているが、高齢化が進み、「お断りしたいんだけど…」という方もいる。これからはますます深刻になっていくと思う。市としてもいろいろ対策を練っていただきたい。

市民生活部長

行政と地域コミュニティーが長所を発揮し合い、社会を支えていく仕組みの構築について検討していきたい。

議員

地域の助け合いで、簡単なことは地域でやるというのも一つの地域共同のあり方だと思う。一杯のお茶より、一杯のお酒で親交が深まり、地域の失われつつある部分を取り戻せるのではないかと思う。

市長

工業団地はつくったけれども、その人たちが住む場所の整備が遅れてしまったと反省している。

茂田 信二 議員

新田 宏安 議員